



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

機構ニュース

Vol.166 2017 March

今月の記事

Top News

- 「大学改革支援・学位授与機構で学士の学位をめざす方への説明会」を開催1
- オーストラリアの質保証機関TEQSAとスタッフ交流を実施2

施設費貸付・交付事業

- 施設費貸付事業・施設費交付事業に係る現地調査3
- 大学改革支援・学位授与機構債券の発行4

質保証連携

諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

- INQAAHE2017隔年次総会に出席5

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

- 「新しい学士への途」及び「学位授与申請書類」について
- 平成29年度版「新しい学士への途」及び「学位授与申請書類」の発行6
- 学士の学位授与制度及び申請方法等関連の刊行物6
- 資料の請求方法7

平成29年度学士の学位授与申請に係る申請方法、受付期間及び試験日等8

短期大学及び高等専門学校の専攻科に係る認定の審査について

- 新たに5専攻を認定 ー平成29年度ー10

認定専攻科に係る教育の実施状況等の審査について

- 審査対象となった5校6専攻を「適」と判定11

短期大学及び高等専門学校の認定専攻科の特例適用認定に係る審査について

- 8校9専攻を認定 ー平成29年度ー12

省庁大学校の課程に係る認定の審査について

- 防衛医科大学校を認定13

認定課程に係る教育の実施状況等の審査について

- 審査対象となった1校3課程を「適」と判定13

機構の窓

- 会議の開催状況15

主要行事日程

- Schedule（3月～5月）16

○「大学改革支援・学位授与機構で学士の学位をめざす方への説明会」を開催



当機構は、平成 29 年 2 月 4 日（土）に、大阪私学会館において、「大学改革支援・学位授与機構で学士の学位をめざす方への説明会」を放送大学と共同で開催しました。

当機構と放送大学は、平成 26 年度に、生涯学習社会における高等教育の推進という共通の目的の下、学位授与事業と大学教育活動で相互に協力していくための協定を締結しており、今回の説明会もその一環として行われました。

両機関のホームページ等から参加者を広く募集し、説明会当日は 80 名以上の方が参加しました。当機構の越幹事による開会挨拶の後、機構の教職員が「単位積み上げ型の学士の学位授与制度」、「学位取得のための単位の修得一考え方と方法一」及び「学修成果の作成および試験についての留意事項」を主題に、機構の制度による学位取得の流れを説明しました。

その後の質疑応答では参加者から活発な質問が飛び交い、説明会終了後に行われた個別相談会には 28 名の方が参加し、約 1 時間半にわたり、機構からの学位の取得に関わる個別の相談が行われました。説明会参加者のアンケートによると、満足度は総じて高く、関西圏初の機構・放送大学共同での説明会は盛況のうちに終了しました。

当機構と放送大学は、今後も継続して説明会を共同で開催することを予定しています。

※「大学改革支援・学位授与機構で学士の学位をめざす方への説明会」の資料については、[当機構のホームページ](#)から入手できます。

○オーストラリアの質保証機関 TEQSA とスタッフ交流を実施

当機構は、オーストラリア高等教育質・基準機構（TEQSA：Tertiary Education Quality and Standards Agency）との覚書に基づく協力事業の一環として、平成 29 年 2 月 5 日（日）から 10 日（金）の 5 日間、TEQSA が所在するオーストラリアのメルボルンにて、「TEQSA 訪問プログラム」を実施し、蝶研究開発部助教、柴田評価支援課係員、山崎国際課係員の 3 名が参加しました。同プログラムは、昨年 2 月に実施した「[TEQSA スタッフによる機構訪問プログラム](#)」に続くものであり、これにより両機関の相互訪問が実現しました。両機関は、今後もスタッフ交流等を通じてさらなる連携を進めていくこととしています。

プログラムでは、TEQSA のほか、職業教育訓練の質保証を所管するオーストラリア技能質保証機関（ASQA：Australian Skills Quality Authority）、公立大学である Swinburne 工科大学、オンライン教育プログラムの開発を行う Swinburne Online や公立の職業訓練教育機関である Holmesglen Institute の 4 機関を訪問し、オーストラリアにおける高等教育制度の概要、職業教育の質保証やオンライン教育の取組などについて意見交換を行いました。



TEQSA CEO 及びコミッショナーらと

TEQSA では、評価における作業負担の軽減を目的としたリスクベースの評価や[今年から導入される新たな評価基準](#)について学んだほか、評価にかかる資料のやりとりの効率化のための評価申請プラットフォームである[プロバイダーポータル](#)や、TEQSA が行うリスクアセスメントの手法について担当者と意見交換し、理解を深めました。

ASQA では、職業訓練教育評価の枠組みや[職業教育訓練に係る奨学金制度の厳格化](#)による職業教育訓練機関への影響等について意見交換を行いました。Swinburne 工科大学においては、同大学におけるアカデミックガバナンス・コーポレートガバナンスなどについて情報収集を行い Swinburne Online では、オーストラリアで進むオンライン教育の提供について、オンキャンパス教育との同等性を担保するための取組について説明がありました。Holmesglen Institute では、学内における質保証体制について聴取したほか、職業教育訓練を中心に高等教育の提供も行う混合セクター（Mixed Sector）について理解を深めました。



TEQSA による評価制度説明の様子



ASQA での意見交換の様子

施設費貸付・交付事業

○施設費貸付事業・施設費交付事業に係る現地調査

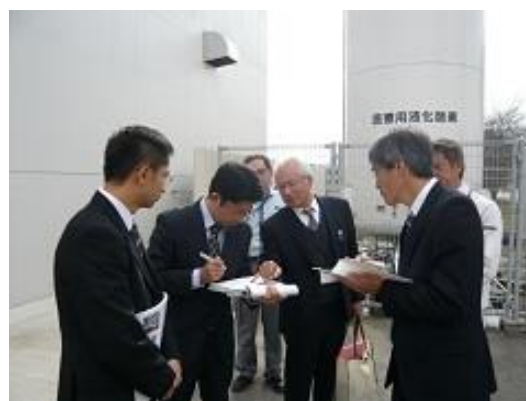
施設費貸付事業・施設費交付事業について、事業が当初の計画通りに実施または完了し、その後も適切にその効果が機能しているか、また、債務の償還確実性などの検証に必要な国立大学法人の財務及び経営状況等の調査・確認を行うことを目的に、国立大学法人等への訪問調査を行っています。

当機構では、第3期中期目標において、「訪問調査を年に5回以上実施することにより、事業が適切に機能しているかを確認する。」としており、今年度は下記のとおり13法人を訪問致しました。

訪問調査において、調査対象の施設・設備の現場視察を行うとともに、資金管理の状況等の書面調査、国立大学附属病院の経営状況等のヒアリングを実施し、全般的に適切に執行されていることが確認できました。

各大学等が快適なキャンパス環境で教育・研究が行えるとともに、国立大学附属病院がその役割を果たしうよう、当機構は国立大学法人等の施設・設備の整備充実のために引き続き支援していきます。

調査法人名	調査月	対象事業
岩手大学	10月	交付事業
秋田大学	10月	貸付事業・交付事業
群馬大学	11月	貸付事業・交付事業
横浜国立大学	10月	交付事業
名古屋大学	11月	貸付事業・交付事業
名古屋工業大学	11月	交付事業
豊橋技術科学大学	11月	交付事業
京都大学	11月	貸付事業・交付事業
京都工芸繊維大学	11月	交付事業
香川大学	11月	貸付事業・交付事業
愛媛大学	11月	貸付事業・交付事業
福岡教育大学	10月	交付事業
大分大学	11月	貸付事業・交付事業
	合 計	13法人



訪問調査の様子

○大学改革支援・学位授与機構債券の発行

当機構は、附属病院を有する全国の国立大学法人に対して、施設費貸付事業により毎年 400～600 億円の施設・設備整備資金を貸付けております。その財源として、財政融資資金を活用するとともに、50 億円分の当機構債券を発行し、市場から資金を調達しております。財政融資資金を活用する機関は、自らが債券を発行し、市場での資金調達に努めることになっております。

今回は当機構が統合して、最初の債券発行となるため、投資家に対し、当機構全体の事業内容及び財務状況等を示し、さらに IR 活動として昨年度より多くの投資家を訪問して説明を行うなどの情報発信を行いました。

この度、平成 29 年 2 月 10 日に「第 1 回独立行政法人大学改革支援・学位授与機構債券」（機構債券）の発行条件を下記のとおり決定し、2 月 28 日に債券を発行いたしました。

機構債券の信用力は高く、旧国立大学財務・経営センター時から引き続き AA（株式会社格付投資情報センター）の格付けを取得しております。日本国債の格付けは AA+（同社）ですので、国債に次ぐ高い信用力のある債券として評価されており、今年度も 50 億円を調達することができました。このことにより、国立大学法人に対し安定した貸付けが実施可能となります。

今後も引き続き、高い信用力を維持しつつ、安定した資金調達に取り組み、全国の国立大学附属病院を支援して参ります。

銘 柄	第 1 回独立行政法人大学改革支援・学位授与機構債券
発 行 額	50 億円
利 率	年 0.030%
償 還 の 期 限	5 年
発 行 価 額	額面 100 円につき金 100 円
資 金 の 使 途	施設費貸付事業のうち、国立大学附属病院の医療設備の設置に必要な資金貸付けの一部に充当
格 付	AA（株式会社格付投資情報センター）

質保証連携

諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

OINQAAHE2017 隔年次総会に出席

平成 29 年 2 月 28 日から 3 月 1 日にかけて、各国・地域から 200 以上の高等教育質保証機関や大学等が加盟する高等教育質保証機関国際ネットワーク（INQAAHE）の 2017 年の隔年次総会が、バーレーンのマナマにおいて開催されました（主催機関：バーレーン全国教育・訓練資格質保証機関（BQA：The Education & Training Quality Authority））。当機構は正会員として当ネットワークに加盟しており、本総会には、木村顧問、川口顧問、土屋研究開発部教授、渋井研究開発部准教授及び 3 名の国際課職員が出席しました。

本総会では、「協力と競争の間に：高等教育における質保証のための将来展望と課題」をテーマに、国内外の学生市場において競争的優位に立つための質保証、学生の質保証への関与、資格枠組みの構築、また今後 25 年における質保証の課題の 4 つの各サブテーマが設定されました。これらの各サブテーマのもと、全体会で有識者による講演があり、これに続く分科会では、各国の参加者から自国の取組について発表がありました。高等教育のグローバル化の進展に伴い、質保証における国際的な面での協力関係のみならず競争関係も生じていることが示唆され、講演等では、教育市場における消費者としての学生の質保証への関与、学習成果の把握や外国資格との比較を容易にする資格枠組みの国際的有用性、国際的な質保証の現状等に特に焦点が当てられていました。当機構からは土屋教授が、中国教育部高等教育教学評価センター（HEEC：Higher Education Evaluation Center of the Ministry of Education）の Wu



発表を行う土屋教授（右）と
Zheng 研究補助員（中央）



ポスター展示を行った
渋井准教授

Yan 主任（Zheng 研究補助員代理発表）と共同で、日中韓三カ国の共同事業である「キャンパス・アジア」モニタリングの取組の成果について発表しました。また、当機構の渋井准教授は、「内部質保証に関連する指標・エビデンスの国際的な標準化」についてのポスター展示を行いました。

最後の全体総会では、会長及び事務局から活動報告があり、2018 年のメンバーフォーラムはモーリシャスにて、また 2019 年の隔年次総会はスリランカにて開催すること等が発表されました。

今回の総会には、世界各国から 300 名近い質保証機関の関係者が参加しており、当機構においても会議外で覚書締結機関の関係者等と協議・懇談を行うなど、貴重な情報交換の機会となりました。

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

■「新しい学士への途」及び「学位授与申請書類」について

○平成29年度版「新しい学士への途」及び「学位授与申請書類」の発行

平成29年度版「新しい学士への途」及び「学位授与申請書類」を発行しました。

「新しい学士への途」は、大学改革支援・学位授与機構が行う学士の学位の授与について、制度の目的、仕組み、学修方法、申請の手順などを解説したものです。

また、「学位授与申請書類」は、学位授与申請書類の記入上の注意と申請書類の各様式をとじたものです。

平成29年度に学位授与申請を希望される方は、この「新しい学士への途」と「学位授与申請書類」を以下の方法により取り寄せた上で、学位授与申請の手続きを行ってください。

※特例適用の認定を受けた専攻科修了見込みの者については、手続きが異なるため、別途確認してください。

○学士の学位授与制度及び申請方法等関連の刊行物

当機構では、学士の学位授与制度及び申請方法等について説明した冊子等を毎年度発行しています。

学士の学位授与申請をされる方は、必ず申請年度の◎印の冊子を取り寄せ、この制度の内容や記入上の注意等をよく読んでから、申請してください。

◎新しい学士への途

学士の学位授与について、制度の目的、仕組み、学修方法、申請の手順などを解説したもの

◎学位授与申請書類

学位授与申請書類の記入上の注意と申請書類の各様式をとじたもの

・学士をめざそう！

学士の学位授与について、学位取得者の体験談及び学位取得までの流れなどを簡単に説明したリーフレット

・機構が授与する学士の学位

日本において大学以外で学位を授与できる唯一の機関である当機構が授与する学位について説明したリーフレット

※上記の冊子等（学位授与申請書類の一部を除く。）については、[当機構ウェブサイト](#)においてPDFファイル等にて公表しています。

○資料の請求方法

(1)テレメール（インターネット・自動音声応答電話）での請求方法

①以下のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

インターネットの場合 (スマートフォン・ パソコン・携帯電話)	http://telemail.jp/	スマートフォン・携帯電話なら、バーコードを読み取るだけでアクセスできます。 
自動音声応答電話の場合	IP電話 050-8601-0101	※一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。

②ご希望の資料の資料請求番号を入力してください。

資 料 名	部 数	資料請求 番 号	料 金 (送料含む)
『新しい学士への途』 【2月】	1部(※)	488724	300円
『学位授与申請書類』 【2月】	1部(※)	488725	300円
『新しい学士への途』および『学位授与申請書類』 【2月】	1セット	488726	350円
学士をめざそう！	1部	488727	180円
機構が授与する学士の学位	1部	488728	180円

【 】は最新版の発行月です。学位授与申請にあたっては申請する年度・期のものをご利用ください。

※ 複数セットを請求する場合は、当機構ウェブサイトから請求してください。

③ガイダンスに従ってお届け先等の登録を行ってください。

請求方法についてのお問い合わせ

テレメールカスタマーセンター 電話 050-8601-0102 (9:30~18:00)

(2)当機構のウェブサイトからの請求方法

[当機構ウェブサイト](#)からテレメールを利用して資料請求できます。

■平成29年度学士の学位授与申請に係る申請方法、受付期間及び試験日等

1 申請方法

申請にあたっては、インターネットを利用した「電子申請」で行ってください。ただし、電子申請の場合であっても、証明書類や学修成果等の必要書類は、別途、期限までに機構に郵送（書留）する必要があります。

また、インターネットを利用できないなど、電子申請することができない場合には、すべての申請書類を期限までに機構に郵送（書留）することとなる「郵送申請」で行うこともできます。

2 受付期間等

(1) 電子申請

申請時期	受 付 期 間
4月期申請	○ データ入力 平成29年3月14日(火) ～ 平成29年4月6日(木) (最終日は17時までに送信完了) ○ 書類送付 平成29年4月1日(土) ～ 平成29年4月7日(金) (最終日は当日消印有効)
10月期申請	○ データ入力 平成29年9月12日(火) ～ 平成29年10月6日(金) (最終日は17時までに送信完了) ○ 書類送付 平成29年10月1日(日) ～ 平成29年10月7日(土) (最終日は当日消印有効)

※書類送付は、郵送（書留）による提出のみ受理します。

(2) 郵送申請

申請時期	受 付 期 間
4月期申請	○ 書類送付 平成29年4月1日(土) ～ 平成29年4月7日(金) (最終日は当日消印有効)
10月期申請	○ 書類送付 平成29年10月1日(日) ～ 平成29年10月7日(土) (最終日は当日消印有効)

※書類送付は、郵送（書留）による提出のみ受理します。

申請書類等の送付先	〒187-8587 東京都小平市学園西町1-29-1 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構管理部学位審査課
-----------	---

(3) 学位審査手数料払込み

申請時期	受 付 期 間
4月期申請	○ 平成29年3月1日(水) ～ 平成29年4月7日(金)
10月期申請	○ 平成29年9月1日(金) ～ 平成29年10月7日(土)

※ATMでの払込みはできませんので、窓口の営業時間に注意してください。

3 試験日・試験場

申請時期	試 験 の 区 分	試 験 場	試 験 日
4月期	小論文試験 (学修成果としてレポートを提出した者)	東 京	平成29年6月4日(日)
		大 阪	
	面接試験 (専攻の区分「音楽」または「美術」でレポート以外の学修成果を提出した者)	東 京	
10月期	小論文試験 (学修成果としてレポートを提出した者)	東 京	平成29年12月17日(日)
		大 阪	
	面接試験 (専攻の区分「音楽」または「美術」でレポート以外の学修成果を提出した者)	東 京	平成29年12月10日(日)

問合せ先

電 話 042-307-1550

F A X 042-307-1555

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00

(土・日曜、祝日、年末年始を除く。)

■短期大学及び高等専門学校の専攻科に係る認定の審査について

○新たに5専攻を認定　－平成29年度－

平成28年9月に認定の申出のあった短期大学及び高等専門学校の専攻科について、各専門委員会における教育課程及び教員組織等の審査結果に基づき、平成29年2月15日（水）開催の学位審査会において認定の可否について審査が行われました。審査の結果、4校5専攻（短期大学専攻科2校2専攻、高等専門学校専攻科2校3専攻）を認定（平成29年度から適用）することとなり、機構長から専攻科の設置者等に通知しました。

1. 短期大学専攻科（2校2専攻）

名	称	専 攻 名	入学 定員	修業 年限	設 置 者	適 用 時 期
1	明倫短期大学	生体技工専攻	10	2	学校法人明倫学園	平成29年4月1日
2	姫路日ノ本短期大学	幼児教育専攻	10	2	学校法人日ノ本学園	平成29年4月1日

2. 高等専門学校専攻科（2校3専攻）

名	称	専 攻 名	入学 定員	修業 年限	設 置 者	適 用 時 期
1	鈴鹿工業高等専門学校	総合イノベーション 工学専攻	24	2	独立行政法人 国立高等専門学校機構	平成29年4月1日
2	奈良工業高等専門学校	システム創成工学専攻	24	2	独立行政法人 国立高等専門学校機構	平成29年4月1日
		物質創成工学専攻	6	2		

■認定専攻科に係る教育の実施状況等の審査について

○審査対象となった5校6専攻を「適」と判定

当機構の認定を受けた短期大学及び高等専門学校専攻科は、認定後、原則5年後、その後原則として7年ごとに教育の実施状況等についての審査を受けることとされています。

本年度は平成15年4月1日及び平成23年4月1日認定の専攻科に係る審査が行われました。

各専門委員会における教育課程及び教員組織等の審査結果に基づき、平成29年2月15日（水）開催の学位審査会において教育の実施状況等の適否について審査が行われ、審査対象となった短期大学専攻科5校6専攻すべてが「適」と判定され、機構長から専攻科の設置者等に通知しました。

＜平成28年度教育の実施状況等の審査の結果、「適」と判定された専攻科一覧＞

短期大学専攻科（5校6専攻）〔教員審査（5校6専攻）〕

名 称		専 攻 名	入学 定員	修業 年限	設 置 者
1	日本歯科大学新潟短期大学	歯科衛生学専攻	10	1	学校法人日本歯科大学
2	飯田女子短期大学	地域看護学専攻	15	1	学校法人高松学園
		助産学専攻	5	1	
3	鈴鹿大学短期大学部	健康生活学専攻	5	2	学校法人享栄学園
4	白鳳短期大学	リハビリテーション学専攻	30	1	学校法人西大和学園
5	高知学園短期大学	地域看護学専攻	20	1	学校法人高知学園

■短期大学及び高等専門学校の特例適用認定に係る審査について

○8校9専攻を認定 ―平成29年度―

学位規則第6条第1項の規定に基づく学士の学位の授与に係る特例の適用を希望する認定専攻科について、平成28年4月に特例の適用認定申出の受付を行いました。申出のあった短期大学及び高等専門学校の認定専攻科に対しては、各専門委員会における適用認定の要件に係る審査の結果に基づき、学位審査会において認定の可否について審査が行われ、うち5校5専攻については8月19日（金）開催の学位審査会において、平成28年度実施の専攻科の認定後最初の教育の実施状況等の審査の結果、又は、平成28年度実施予定の専攻科の認定の申出審査の結果が確定するまで結果を保留としていた3校4専攻については、平成29年2月15日（水）開催の学位審査会の審査結果をもって認定され、機構長から専攻科の設置者等に通知しました。

1. 短期大学専攻科（2校2専攻）

	名 称	専 攻 名	設 置 者	特 例 適 用 認 定 年 月 日
1	高知学園短期大学	地域看護学専攻	学校法人高知学園	平成29年4月1日
2	聖霊女子短期大学	健康栄養専攻	学校法人聖霊学園	平成29年4月1日

2. 高等専門学校専攻科（6校7専攻）

	名 称	専 攻 名	設 置 者	特 例 適 用 認 定 年 月 日
1	茨城工業高等専門学校	産業技術システムデザイン工学専攻	独立行政法人 国立高等専門学校機構	平成29年4月1日
2	岐阜工業高等専門学校	先端融合開発専攻	独立行政法人 国立高等専門学校機構	平成29年4月1日
3	鈴鹿工業高等専門学校	総合イノベーション工学専攻	独立行政法人 国立高等専門学校機構	平成29年4月1日
4	奈良工業高等専門学校	システム創成工学専攻	独立行政法人 国立高等専門学校機構	平成29年4月1日
		物質創成工学専攻	独立行政法人 国立高等専門学校機構	平成29年4月1日
5	呉工業高等専門学校	プロジェクトデザイン工学専攻	独立行政法人 国立高等専門学校機構	平成29年4月1日
6	大阪府立大学工業高等専門学校	総合工学システム専攻	公立大学法人 大阪府立大学	平成29年4月1日

■省庁大学校の課程に係る認定の審査について

○防衛医科大学校を認定

平成28年9月に認定の申出があった防衛医科大学校について、専門委員会における教育課程及び教員組織等の審査結果に基づき、平成29年2月15日（水）開催の学位審査会において認定の可否について審査が行われ、課程を認定することが決定され、機構長から所管省庁及び大学校に通知しました。

大学院の修士課程に相当する教育を行う課程（1校1課程）

名 称	課 程	入学 定員	修業 年限	所 管 省 庁
1 防衛医科大学校	医学教育部看護学科	120	4	防衛省

■認定課程に係る教育の実施状況等の審査について

○審査対象となった1校3課程を「適」と判定

当機構の認定を受けた省庁大学校の課程は、認定後、原則5年ごとに教育の実施状況等についての審査を受けることとされています。

各専門委員会における教員組織等の審査結果に基づき、平成29年2月15日（水）開催の学位審査会において教育の実施状況等の適否について審査が行われ、審査対象となった1校3課程いずれも「適」と判定され、機構長から各所管省庁及び各大学校に通知されました。

<平成28年度教育の実施状況等の審査の結果、「適」と判定された省庁大学校の課程一覧>

1. 大学の学部に対応する教育を行う課程（1校1課程）

名 称	課 程	入学 定員	修業 年限	所 管 省 庁
1 防衛大学校	本科	530	4	防衛省

2. 大学院の修士課程に相当する教育を行う課程（1校1課程）

名 称	課 程	入学 定員	修業 年限	所 管 省 庁
1 防衛大学校	理工学研究科前期課程	90	2	防衛省

3. 大学院の博士課程に相当する教育を行う課程（1校1課程）

名 称		課 程	入学 定員	修業 年限	所 管 省 庁
1	防衛大学校	理工学研究科後期課程	20	3	防衛省

機構の窓

■ 会議の開催状況

○学位審査会

・第4回 平成29年2月15日（水） 15:00～17:00

議事

- (1) 短期大学及び高等専門学校卒業者等に係る学士の学位授与の審査の結果について
- (2) 認定課程修了者に係る博士の学位授与の審査の結果について
- (3) 認定課程修了見込者に係る修士の学位授与の審査の付託について
- (4) 認定課程修了見込者に係る博士の学位授与の審査の付託について
- (5) 認定課程修了予定者（留学生）に係る修士及び博士の学位授与の審査について
- (6) 認定課程修了予定者に係る学士の学位授与の審査について
- (7) 短期大学及び高等専門学校の専攻科に係る認定の審査の結果について
- (8) 平成28年度認定専攻科に係る教育の実施状況等の審査の結果について
- (9) 省庁大学校の課程に係る認定の審査の結果について
- (10) 平成28年度認定課程に係る教育の実施状況等の審査の結果について
- (11) 短期大学及び高等専門学校の特例適用専攻科に係る変更の届出の審査の結果について
- (12) 特例適用専攻科における学修総まとめ科目の実施状況の審査結果について
- (13) 新たな専攻の区分「演劇」の新設について
- (14) 学士の学位授与に係る修得単位審査要項の改正について
- (15) 平成29年度の審査スケジュールについて
- (16) その他

○大学ポートレート運営会議

・第6回 平成29年2月27日（月） 10:00～12:00

議事

- (1) 大学ポートレートステークホルダー・ボードからの意見について
- (2) 大学ポートレートウェブサイトのモバイル端末対応について
- (3) 大学ポートレートウェブサイトの一覧機能追加について
- (4) 大学ポートレートウェブサイト（国際発信版）の公表画面について
- (5) その他

主要行事日程

○ Schedule

3月

日	行事名	担当課
6日	法科大学院認証評価委員会（第3回）	評価支援課
8日	大学機関別認証評価委員会（第4回）	評価支援課
10日	平成 28 年度大学改革支援・学位授与機構シンポジウム	総務企画課
10日	学位審査会（平成 28 年度第 5 回）	学位審査課
13日	高等専門学校機関別認証評価委員会（第4回）	評価支援課
14日～ 4月6日	平成 29 年度 4 月期学位授与電子申請受付期間	学位審査課
16日	大学連携ワークショップ「内部質保証と3つのポリシー」	評価企画課

4月

日	行事名	担当課
1日～7日	平成 29 年度 4 月期学位授与郵送申請受付期間	学位審査課
24日	平成 29 年度認証評価機関連絡協議会評価担当職員研修	評価企画課

5月

日	行事名	担当課
12日	学位審査会（平成 29 年度第 1 回）	学位審査課

